

# 平成20年度2月補正予算案の概要

平成21年2月  
宮城県

## 予算編成の考え方

今回の補正予算は、急激な景気後退局面において、中小企業の経営安定化を図るための金融対策を更に拡大するとともに、国の第二次補正予算の成立に伴い、各種基金の造成、生活対策のための交付金を活用した施策及び公共事業等を措置

また、8月補正予算等において計上した岩手・宮城内陸地震の復旧対策に要する経費について、国内示額確定等に伴い増減を整理

歳入予算については、見込みを大幅に上回る21年度の財源不足に備え、減収補てん債を最大限発行し、財源調整のための基金を確保

## 予算規模

(単位：百万円，%)

	11月現計予算	2月補正予算	2月補正後予算	2月補正後予算対前年度増減率
一般会計	831,924	4,381	827,543	4.1
特別会計	197,709	2,431	195,278	5.0
準公営企業会計	24,507	663	23,844	7.1
公営企業会計	76,339	1,082	75,257	31.7
計	1,130,479	8,557	1,121,922	3.6

### 【一般会計補正予算の状況】

#### 歳入

- ・ 国庫支出金は、災害復旧事業費の確定に伴い162億円の減額となるものの、国の第二次補正予算の成立に伴う各種交付金の受入れ等により総額で、26億円の増額
- ・ 財産収入は、株式売却の取り止め等により、22億円の減額
- ・ 繰入金は、財源調整のための基金からの繰入金的全額取り止め等により60億円の減額
- ・ 諸収入は、中小企業金融対策の拡大により、103億円の増額
- ・ 県債は、減収補てん債が61億円の増額となるものの、災害復旧事業費の確定等により総額で、88億円の減額

#### 歳出

- ・ 一般行政経費は、中小企業金融対策の拡大や国の第二次補正予算の成立に伴う障害者自立支援、子育て支援等の基金造成により、260億円の増額
- ・ 投資的経費は、岩手・宮城内陸地震の災害復旧事業費の確定等により、総額で277億円の減額
- ・ 人件費は、新陳代謝の進展等により、総額で32億円の減額